

はじめに

菅原 寛孝

総研大葉山高等研究センター センター長

平成 16 年度から始まった、わが国における大学共同利用機関の歴史についての研究プロジェクトのうち、アーカイブズグループの活動もしだいに活発になっています。今回のワークショップは、この分野の専門家、関心がある方などさまざまな方にお集まりいただいていますので、これまでの成果を発表するとともに、将来に向けての提案もしていきたいと考えています。

現在、さまざまな場、機関などで多様な試みが進められていますが、まだアーカイブズとしてまとまったものはほとんどありませんし、また資料のデータベース化、管理などについても整備が遅れているのが現状です。このように、ばらばらに進行している、いくつものプロジェクトをどこかで集約して一つの大きな力にしていければ、たとえば「学術資料センター」などのような統一的な機関を構築する機運も生じてくるのではないかと期待しています。さらに、総研大のグループがこうした動きの中核的な存在になっていただきたいという期待もあります。

たまたま総研大葉山キャンパスに隣接して広大な土地があり、また神奈川県や葉山町としても学術的な施設誘致の希望もあるようなので、きちんとした構想を立て、多方面のサポートが得られるようであれば、この構想を実現化していきたいと願っています。私自身は、2008 年 3 月で退任しますので、実際の計画遂行は次の学長や理事に委ねたいと思っています。いずれにせよ、まずきちんとした構想を皆さんと連携しながら練り上げることが大切ですので、ぜひ参加していただけることを期待しています。